

地域における防災・減災力の向上を目指して

大分県の南西部に位置する九重町は、町の中央部を筑後川の支流玖珠川が東西に走り、西側に田畑・山林等が開け、東南方には久住山、大船山、三俣山などの標高800mから1764mに達する九州の屋根というべき名峰連なる10有余の九重山群に囲まれています。大部分は山林・原野に覆われており、気候は変化が激しく東北から九州を内包した気象条件といえ、更に地熱資源をはじめ豊富な資源を有し、豊かな自然をもっています。

私たちの生活に欠かすことのできない自然は時として、大きな災害を引き起こすこともあります。2016年4月に発生した熊本・大分地震では住居の全半壊やライフラインである道路の寸断、水道施設の損壊により、住民生活に多大な損害を与えました。また、くじゅう連山は過去に何度も噴火を繰り返してきた活火山であり、1995年には硫黄山が257年ぶりに噴火しており、今後も噴火する可能性があります。2005年には3名の犠牲者を出した集中豪雨被害も発生しており、いつ起こるか分からない自然災害に対して自助・共助・公助の役割分担のもと、備えておく必要があります。

本シンポジウムでは、地震災害、火山災害、風水害、土砂災害などを最小限に抑えるために、地域にあった防災・減災力を向上させる方法は何か、そのために何が必要かを、専門家の意見を交えて多面的に討論します。



大分の防災を 考える

in
九重

2017年
1月22日(日)

場所 | 九重文化センター 文化ホール

<13:30~16:00>

定員 **300**名 **無料**
全席自由席

13:30~ 開会・挨拶

13:40~ 特別講演

演題 「災害は忘れる暇なくやってくる ~九重の大雨と地震~」

講師 気象予報士・大分県防災アドバイザー 花宮 廣務

14:40~ パネルディスカッション

コーディネーター

立命館アジア太平洋大学 教授 佐藤 洋一郎

パネリスト

大分大学 教育学部 准教授 小山 拓志

大分大学 教育学部 准教授 川田 菜穂子

大分工業高等専門学校 准教授 工藤 宗治

お問合せ・参加申し込み

大分大学 研究・社会連携課 ☎ 097-554-8533

九重町役場 危機管理情報推進課 ☎ 0973-76-3801

主催 国立大学法人大分大学

共催 大分高等教育協議会(地域連携研究コンソーシアム大分)・九重町

後援 大分県・大分合同新聞社

